

GREEN RADER



A-Reports

- ・長野県産きのこの商品価値の情勢について 01
- ・令和5年度 名古屋販売事務所 花き消費宣伝事業報告 03
- ・令和5年度 長野販売事務所 果実消費宣伝活動報告 04
- ・令和6年度会員会議を開催 05
- ・SBCこどもフェスタで「春満載フラワーアレンジメント教室」実施 ... 06
- ・ハウスサクラランゴ出荷開始 06
- ・入学式にアルストロメリアをプレゼント 07

A-Board

- ・長野米消費拡大キャンペーン
「長野米スタンプラリー2024」開催中 07

- ・新茶 08
- ・らくJAんお届け便 08
- ・令和5年度 定年退職者紹介 09
- ・令和6年度 新採用職員紹介 09

- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・5月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10

長野県産きのこの商品価値の情勢について 令和5年度を振り返って

令和5年度は、飲食料品の値上げ、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギーコストや原材料・物流費用の高騰、最低賃金の上昇による人件費の増加など、生産から流通にかかわる様々なコストが上昇し、長野県青果物の生産者農家経営を圧迫してきました。このような状況の中、JA全農長野営業課は、各取引先との直接商談の中で商品調達を担当するバイヤーに対し、生産コスト上昇分の価格転嫁（適正な価格形成）について、生産農家の実情を説明しながら取引価格の底上げについて理解醸成を図って参りました。しかし、現状は、卸売市場で取引される青果物は需給バランスに基づき価格が決定するという青果物の価格形成の特性上、取引先側が慎重になっている部分も見受けられ、産地側が求める水準には届いていません。

営業課は、各取引先へは引き続き価格転嫁の理解醸成を進めながら、商品を実際に手に取り購入していただく消費者に対して、長野県産青果物のPR

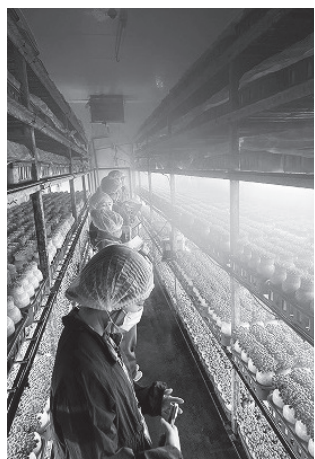
と合わせて商品価値を今一度知っていただく機会を設けるべく、営業活動に努めてきました。

■取引先、流通関係者を対象に「商品学習会」「産地研修会」を開催

各取引先に取り扱っていただいている商品の知識や産地生産現場の実態について理解を深めていただき、その先の消費者に対して商品の魅力を発信していただくことを目的に、各所で学習会や研修会を開催しました。



生産者・関係JAの協力のもと、きのこの栽培工程や産地背景の説明、施設見学やもぎ取り体験などを行い、関係者間の交流を深めました。



■消費者をターゲットにした「料理教室」

需要の掘り起こしと長野県産青果物の更なるファン獲得を目的に、取引先の店舗に併設されているフードスタジオで料理教室を開催しました。著名な料理研究家を講師に招き、午前と午後の部の2回にのべ30名の消費者に参加いただきました。

また、生産者にも講師として、きの



著名な料理研究家を招いた料理教室

この栽培方法や商品のこだわりポイントを紹介していただき、参加者の皆さんにきのこの知識を深めていただきました。



生産者が栽培方法や商品のこだわりポイントを紹介

■「試食宣伝会」で消費者への商品PRと購買意欲向上

主力取引先のスーパー・量販店の店頭で、きのこの試食宣伝会を実施しました。調味料メーカーとのコラボや生産者・JAの産地応援などの協力をいただき、季節に合わせた食べ方の提案や、時短で手軽に作れるメニューを紹介することで、様々な用途でのきのこを活用することができることをPRしました。



栽培ビンからのもぎとり販売は大人気



季節に合わせた食べ方や時短で手軽に作れるメニューを紹介

■顧客ニーズをつかみドラッグストアへの販路を拡大

健康志向の高まりや予防医療の重要性の関心の高まりもあり、コロナ禍以降、ドラッグストアの出店数が全国的に増加傾向にあり、生鮮食品を取り扱う店舗もここ数年で大きく増えています。ドラッグストア利用者のニーズに合わせて、きのこの機能性や栄養情報をアピールしながら、販路拡大と売り場確保を進めました。

令和6年度も、円安の影響に加えて人件費、物流費、電気・ガス代などの動向次第では物価高が続くと予想され、消費者の購買意欲の低下や節約志向から販売点数の伸び悩みが懸念されます。営業課では、ここで紹介した事業によって長野県産青果物がより多くの消費者に購入していただけるようPRするとともに、商談や販促活動とおしてそれぞれの商品が持つ魅力や価値を発信して参ります。

令和5年度名古屋販売事務所 花き消費宣伝事業報告

ＪＡ全農長野名古屋販売事務所は、令和5年度の中京地区での花き消費宣伝について、消費拡大を目的とした量販店での消費宣伝と卸売市場での産地ＰＲによる需要喚起対策を実施して参りました。この取り組みについて報告します。

■量販店での消費宣伝

長野県産カーネーションの認知度向上と販売拡大を目的に各ＪＡ協力のものと、７月に管内６店舗でカーネーション産地合同宣伝会「信州カーネーション祭り」を開催しました。猛暑の中でしたが、長野県産の品種の豊富さと日持ちの良さをアピールしました。夏休み中で家族連れのお客様が多く、長野県はカーネーションの生産量が日本一であることや、母の日だけでなく普段使いにも重宝することを説明し、購入につなげました。特に夏場は花きの日持ちを懸念されるお客様が多いため、今後は購入してすぐに飾ることができ

るアレンジブーケの販売や、日持ちを良くする方法などを伝える必要性を感じました。



■卸売市場での産地ＰＲ

重点市場にて「カーネーションダービー」と称して７月の購入金額の多い買参人上位１０社を表彰する販売企画を行いました。長野県産のナシ「幸水」を贈呈し購買意欲につなげました。ま

た、セリ場の活性化対策として、重点市場のセリ場で長野県産アルストロメリアを購入された買参人を対象に、県産の農産物加工品を景品とする販売促進企画を行いました。特に価格低迷時の販売促進や、長野県の産地としての存在感アップにもつながりました。

■産地でのイベント「ＪＡ信州諏訪花まつり」への協力

ＪＡ信州諏訪の地元消費者を対象に、花きに興味と親しみを持ってもらうとうと、９月にゆめひろば富士見で「ＪＡ信州諏訪花まつり」が開催されました。イベントでは信州諏訪の花の展示や生花店によるブーケ・フラワーアレンジメント教室、フローリストによるデモンストレーションなどが行われ、名古屋販売事務所は花材の提供やフローリストの派遣などの協力をしました。参加者は地元の花の生産について知見を深め、お子さんもイベントを楽しみながら花に親しみ、花を感じてもらったいい機会となりました。

名古屋販売事務所ではこれからも販売促進につながる消費宣伝を実施して参ります。

令和5年度長野販売事務所 果実消費宣伝活動報告

J A全農長野長野販売事務所では、卸売会社と連携し長野県産果実の売場確保と消費喚起を目指して消費宣伝活動を実施しています。活動範囲は県内実需者（店舗）のほか、地の利を活かして県外実需者（店舗）まで範囲を広げて対応しています。

■試食宣伝会の再開

コロナ禍の影響を受け、小売店舗では試食販売が制限されて久しく、「試食を伴わない推奨販売」などが行われてきましたが、令和5年5月からの規制緩和により衛生面に配慮した「試食販売」を再開する動きが大勢となりました。

長野販売事務所では、「まず、食べていただき（手に取っていただき）、美味しさ（良さ）を知ってもらう」とことが最良のPRと捉え、基本的には販売促進員による試食をセットにした対面試食販売での宣伝会に注力しました。宣伝会は、単品商品の宣伝をはじめ、

複数品目宣伝、複数実需者による同時期一斉宣伝や産地応援の協力によるJ Aフェアなどを県内外で実施しました。令和5年度は、天候の影響からリンゴなどでは時期と品種によって果皮の着色がなかなか進まない状況となりましたが、「色は薄くても食味は良い」

旨を実需者に発信して売場を作っていたが、消費者にはそれを試食で実感していただきました。小玉果などは袋詰めでお得感を出して消費喚起を促しました。また、品種ごとの食べ比べも行い、「知ってはいたが食べたことが

なかったの試食できて良かった。美味しいー」「味がわかると買いやすい」などのお客様の感想をいただき、改めて試食宣伝の効果



8月に開催した早生リンゴの一斉宣伝会

を実感しました。

ブランド力の向上に向けては、りんご三兄弟[®]、ぶどう三姉妹[®]を揃えた販売にも限定的に取り組みました。今後、もきゃっちコピーやキャラクターの露出を増やして更なる認知度向上を目指します。

■イベント企画の実施（総合宣伝、信州フェア）

大型小売店（モール）の特設会場で、抽選プレゼントなど多彩な企画とリンゴやブドウの

試食を組み合わせた宣伝会を実施しました。また、本県の強みでもある野菜やきのこを含めた総合品目での提案



9月に開催した複数品目宣伝会

を進め、多くの県産品目を揃えPRしました。

今回は実需者2社で実施し、店舗によつてはイベント開始時からレジ待ちの列ができるほど盛況でした。実需者からも評価をいただき、イベント企画の継続を希望されています。

長野販売事務所では引き続き試食宣伝を基本に進め、本県の品質と味の良さを訴求しています。また、より効果的な実施方法や新たな宣伝対応も検討しながら販促活動を行い、長野県産果実のファン獲得と安定販売につなげて参ります。



イベント企画宣伝会のレジに並ぶ列

令和6年度会員会議を開催

J A全農長野は3月28日(木)、令和6年度会員会議を長野市J Aビル13階特I会議室において、会員J AのWEB出席により開催しました。

神農佳人運営委員会会長が議長を務め、「令和6年度事業計画」を付議し原案どおり承認されました。

令和6年度事業計画要旨

総供給販売高計画を2,706億円とします。

「農業振興事業」は、産地基盤維持に向け、マーケットや地域実態、担い手ニーズに対し、三部連携の担い手推進センターによる生産・販売提案、支援機能を発揮し、J Aと一体となり生産振興を推進します。また、地球温暖化への対応として、行政や試験機関と連携し品種の選定・改良や適地適作に基づいた品目の見直しをはかり、新たな暑さ対策技術の確立をすすめます。労働力不足解消や品質・生産性向上対策では、農業生産支援に係るDX化やスマート農業機器の活用、機械化一貫体系の導入をすすめます。

「生産販売事業」は、生産コスト上昇分の価格転嫁実現に向け、卸売会社や実需者と連携し、契約取引毎の内容精査と価格見直しに取り組みとともに、付加価値販売の強化や輸出事業拡大等の多様な販売手法により生産者手取の向上に努めます。また、物流の適正化・効率化に向け、遠隔地輸送のモーダルシフトやストックポイントの活用、共同輸送の実施等により、持続可能かつ安定的な輸送体制の構築に取り組みます。

「生産購買事業」は、段ボール・肥料の近似規格や原料の集約・見直しをすすめる、大規模農家への直行配送方式の拡充に取り組みます。また、県域農機整備センター2拠点による整備受入の拡大と、J A整備士の育成により、J A農機整備事業の強化をはかるとともに、県域推奨型式を中心とした重点購買や中古機の流通拡充による生産者コスト低減に取り組みます。

「畜産酪農事業」は、県本部奨励施策の有効活用により、生産意欲のある若手後継者への経営拡大を支援し、生産基盤維持と販売数量の確保をはかります。また、信州産畜産物のブランド力向上による販売強化や安全安心・品質向上による有利販売に取り組み、生産者手取りを確保します。

「生活事業」は、地域ライフライン維持に向け、ライフラインSS協同経営方式による事業展開を開始するほか、農業用燃料支援対策の継続、ホームエネルギー取扱体制の構築、WEB対応による顧客の固定化・新規獲得をはかります。eコマース事業は取扱商品、出品農産物の増加をはかり「らくJ Aんお届け便」「J Aタウン」の事業拡大に取り組みます。セレモニー事業は、多様化する葬儀形態への対応力を強化し、葬儀件数とシェア確保につながる虹のホールグループ活動を展開します。

引き続き県本部総合経営管理制を堅持し、県域結集の拡大と結集成果を反映した会員・組合員へのメリット還元に努めて参ります。



開催挨拶をする神農会長

SBC子どもフェスタで「春満載 フラワーアレンジメント教室」実施

J A全農長野生産販売部は3月20日（水・祝）、長野市トイ・ゴで開催された「SBC子どもフェスタ」に協賛しました。このイベントは子どもたちに学びの機会を提供しようと「おしごとたいけん！ものづくりたいけん！」をテーマに開催され、全農長野は花育教室を中心にPRに取り組みました。当日は雪が舞う寒さでした



が休日の屋内会場ということもあり約5,500名の親子連れが来場し、準備した長野県や信州きのこのノベルティグッズはお昼過ぎに配布が終了しました。

花育教室では全農長野職員が、花材のアルストロメリアとアネモネを「生産量が全国1位です」と紹介し、続いて講師からアレンジメント作成のポイントの説明がありました。参加した親子は相談しながらアレンジメント作りを楽しんでいました。開放的なスペースでイベント来訪者にも花材がよく見え、春らしい華やきを感じていただける機会となりました。



生産販売部では長野県産農産物のブランド力向上を目的に、継続的な総合宣伝活動に取り組んでいます。

ハウスサクランボ出荷 開始

J A全農長野北信事業所管内でハウスサクランボの出荷が始まりました。

4月4日（木）、J A中野市の平岡共選場所に、生産者が丁寧に箱詰めした「佐藤錦」26・6kgが持ち込まれ、J A職員が検品しました。今年は2月から3月の気温が大きく変化し、温度管理が難しかったものの甘さがあり大きさも十分な良い出来です。

長野県内でトップクラスの生産量を誇るJ A中野市産のサクランボの出荷は、5月中旬にピークを迎え、7月上旬まで続きます。加温栽培の後は雨除け栽培、露地栽培と栽培方法を変えることで長期にわたって出荷されます。



入学式にアルストロメリアを プレゼント

J A全農長野東京販売事務所と長野県信州首都圏総合活動拠点「銀座NAGANO」は、都内の小中学校の入学式で新入生に出荷最盛期の花「アルストロメリア」をプレゼントしました。

アルストロメリアを受け取ったのは4月8日(月)に中央区立泰明小学校の50名、9日(火)に中央区立銀座中学校の130名です。新入生は「お花がきれいで、とつてもかわいい」と笑顔で受け取りました。学校側は「毎年、楽しみにしています。花を受け取った子供たちがうれしそうで学校全体が華やきます」と喜んでいました。

今回提供したアルストロメリアはJ A佐久浅間産です。J A担当

者は「アルストロメ

リアの花言葉に『未来へのあこがれ』がある。長野県の高冷地で生産者が心を込めて育てたアルストロメリアを喜んでもらえたらうれしい」と話していました。

東京販売事務所は、今後も花に触れ合う機会を提供し、県産花きのPRにつながる取り組みを行います。



アルストロメリアを受け取った泰明小学校の新入生

>>> A-Board

長野米消費拡大キャンペーン 「長野米スタンプラリー 2024」開催中

米穀課・(株)マイパール
長野からのお知らせ

長野県内の「すき家」「はま寿司」「ココス」*のメニューには、マイパール長野の“長野米”が使用されています。

ただ今、安全・安心で美味しい地元のお米“長野米”を、もっとたくさんの皆様に食べていただけるようにと、豪華賞品が当たるスタンプラリーを店頭で実施しています。

◆応募方法 各店舗のテーブルにあるQRコードを携帯電話・スマートフォンから読み込むとデジタルスタンプが押印されます。スタンプを集めたら応募フォームに必要事項を入力し、ご応募ください。

◆商品、当選者数 A賞：Panasonic 圧力IHジャー炊飯器 3名様
B賞：長野米(長野県産コシヒカリセレクト 5kg) 100名様

◆応募締切 令和6年5月12日(日)

お店に行き、長野米をたくさん食べて応募しましょう！
皆様のご応募をお待ちしております。

*ココス一部メニューは除く(ジャンバラヤ、ドリア、
スパイスカレー、あんかけ炒飯、おこさまオムライス)

詳しくはこちらへ



キャンペーン特設サイト



組合員のみなさまへ

エコープ 新茶

安心と信頼のくらしの良品

新茶 シルバー

一番茶の新芽を使用した「旨み、こく、まろやかさ」が特徴の新茶です。

1kg (167g×6本入) **11,340円** (税込) 10,500円 (参考本体価格)
【お届け予定時期：5月上旬頃】

新茶 白翔 数量限定

八十八夜前の新芽摘みはかりの一番茶の新芽を使用した。芳醇な香りとコク深いまろやかな味わいが特徴です。

500g (167g×3本入) **11,400円** (税込) 10,556円 (参考本体価格)
【お届け予定時期：4月下旬頃】

新茶 ゴールド

お茶のおいしさは芽の若さが決め手。一番茶の摘み出たばかりの新芽で作った緑茶です。

1kg (167g×6本入) **16,200円** (税込) 15,000円 (参考本体価格)
【お届け予定時期：5月上旬頃】

新茶 グリーン

おいしさと経済性を考えてブレンドしました。新茶の風味はそのままで。

1kg (167g×6本入) **9,180円** (税込) 8,500円 (参考本体価格)
【お届け予定時期：5月中旬頃】

新茶 匠 (棒茶)

軟らかい芽の部分を含んださわやかな棒茶です。

1kg (167g×6本入) **7,020円** (税込) 6,500円 (参考本体価格)
【お届け予定時期：5月下旬頃】

※表示価格はJA全農長野希望小売価格です。※一部、商品価格が異なるJAがあります。

ご予約承り中!

ご予約・お問い合わせは
最寄りのJAまたはA・コープ店へ

品質と安心のこだわり

- ◆八十八夜前後のやわらかい新芽を使用しています。
- ◆真空・窒素ガス充填で新鮮さを保持しています。賞味期限は1年間で、新茶の香り・旨味等が楽しめます。
- ◆安心・安全のための品質管理の徹底を行っています。
 - ・定期的な残留農薬等の検査の実施
 - ・国際規格「ISO9001」取得工場で生産
 - ・茶畑から商品梱包までの生産履歴システム確立
 - ・自社農園・契約農場におけるGAP認証取得

おいしいお茶の淹れ方についてはこちらから

エコープ緑茶 70周年 プレゼントキャンペーン

アンケート回答で **豪華景品が当たる!!**

※応募期間：令和6年6月30日まで

A 旅行券 10万円 3名
※長野観光旅行ギフト券

B JAタウンギフト券 1万円 30名
※ギフト券は100円単位で発行

C まごころ商品券 5,000円 140名
※商品券は1,000円単位で発行

D エコープ緑茶 500g 1000名
※商品券は100g単位で発行

応募方法：左記のQRコードから、エコープマーク商品コミュニティ「A・E・J」へアクセスし、会員登録の上、アンケートの回答をもって応募する必要があります。

抽選について：当選発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。賞品の発送は2024年9月中旬を予定しています。

※入賞者の選定については抽選機による抽選が行われ、抽選の結果、抽選結果が発表されます。

いつでもどこでも 簡単注文、自宅に お届け!

らくJANお届け便

rakujan otodokebin 長野 JA全農長野

安全・安心にこだわるエコープマーク品を中心に、加工食品、菓子、日用品、お米、冷凍食品をご自宅までお届けします。ご自宅や職場、外出先など、好きな場所でお届けをさせていただきます。

新規会員にご登録で
初回のお買い得から使える!!

500pt プレゼント

お買い上げ金額100円(税込)につき1ポイント付与されます。貯まったポイントは1ポイント=1円としてご利用いただけます。

らくJANお届け便 3つのポイント

- 01 安全・安心のエコープマーク品など多数品揃え
- 02 重いもの、かさばるものをご自宅までお届け
- 03 ホームページやLINEではお得なキャンペーン情報やエコープマーク品のおすすめレシピ等を発信

利用方法

- 01 会員登録(無料)
- 02 らくJANお届け便でお買い物
※お支払い方法は、クレジットカードでのお支払いとなります。
- 03 ご自宅までお届け

詳しくは こちら!

らくJANお届け便 検索

<https://rakujan-otodokebin.com/>

商品ラインナップ

随時追加予定

加工食品
菓子
日用品
お米
冷凍食品

お問い合わせ JA全農長野 生活部 生活課 ☎ 026-236-2257 (受付時間：9:00~17:00 土日祝日除く) ✉ zz_nn_takuhai@zennoh.or.jp

令和5年度 定年退職者紹介



2列目左から 西澤 孝典、岩崎 直樹、村田 英徳、工藤 政文、佐藤 勇人、山口 秀幸

1列目左から 山田 展靖、高木副本部長、畠田本部長、神農会長、長谷川本部長付、根津副本部長、棚田 豊秋

対象者は太字で表記

令和6年度 新採用職員紹介



3列目左から 林 千尋、上村 美結、寺澤 知典、清水 隆成、江崎 菜々子、西澤 友博、青木 勇斗、清澤 新太

2列目左から 鶴巻 伶、澤柳 円香、曾我 隼杜、町田 早希、小林 祐輝、鈴木 伶、小松 大晴、塚田 裕相、高田 大輝

1列目左から 松林 千咲希、安武管理部長、高木副本部長、神農会長、長谷川県本部長、根津副本部長、金箱 諒大、村上 啓汰

対象者は太字で表記

JA全農長野の事業現況▶

令和5年度3月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		73	107	106
野菜種苗センター		178	88	95
生産振興部計		250	93	98
米	穀	18,141	102	107
果実花き		48,899	107	104
野菜きのこ		71,671	93	106
営業		14,412	90	106
生産販売部計		153,123	98	105
包装資材		8,737	99	104
生産資材		12,888	98	88
農業機械		5,887	95	96
施設住宅		9,581	130	147
生産購買部計		37,094	104	104
畜産酪農		32,463	103	104
三岳牧場		277	97	115
SPF繁殖センター		285	93	98
ハケ岳牧場		273	109	131
畜産酪農部計		33,297	102	104
燃料・ホームエネルギー		27,597	97	98
S S 協同経営		7,682	109	103
生活		9,096	106	100
生活部計		44,376	101	99
長野県本部計		268,004	100	104

(内部販売高含む)

5月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
5/14(火) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえがりでい内 [いいJAん家庭菜園]	JAファーム
5/22(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえがりでい内 [暮らしの応援団]	野菜きのご課

今月のおすすめレシピ

第41回牛乳・乳製品利用料理コンクール長野県大会
優良賞(長野県牛乳普及協会会長賞)受賞レシピ



ミルクようかん



■材料(4人分)

- ・牛乳.....150ml
- ・バター.....10g
- ・こしあん.....40g
- ・塩.....ひとつまみ
- ・はちみつ.....20g
- ・粉寒天.....4g
- ・水.....50ml

■作り方

- ①鍋に牛乳、水、粉寒天を入れて火にかけ、沸騰後2分かき混ぜながら熱する。
- ②火を止めてバター、はちみつを溶かす
- ③塩ひとつまみを入れる
- ④こしあんを数回に分け入れ、溶かす
- ⑤中火にかけ、15分ほど水分を飛ばすように練る
- ⑥型に流し入れ、氷水につけて粗熱をとる
- ⑦冷蔵庫で冷やしたら完成



*しっかりと水分を飛ばすことで、濃厚な味わいに仕上がります

グリーンリーダー
X(旧ツイッター)
はこちら



グリーンリーダー
WEB版はこちら



編集後記

3月の気温の上がり鈍かったため、予想より遅くなりましたが、4月には桜の開花が始まり、素晴らしい風景が見られる季節になってきました。信州の春の訪れは、農繁期の始まりでもあります。私も3月末の水稲育苗ハウスの準備に始まり、4月中旬には粉撒きを終わらせました。我家の本年度水稲作付は14.875㎡、5月の田植えが終わるまでは気が気でありません。

農業従事者の減少、高齢化の波は我が家にとっても深刻な問題です。高齢の母は今年から戦力外、経営者の父自身もいつまで頑張れるのか、経営規模も中途半端で法人に委託することもあり、等々、常に不安がつきまわります。

さて、田植えが終わったばかりで、まだ苗が小さく、水面に太陽の光がまぶしく反射し、周りの景色が美しく映えるような田んぼを「早苗田(さなえだ)」と言います。特に信州の夕暮れの「早苗田」は、アルプスの山々がリフレクションし春の農作業の終わりを告げ、心癒される絶景となります。この景色を見る時、私は無事に田植えが終わったことの達成感・満足感・心の安らぎ、そして何より、今年も無事に親父と百姓が出来たことへの感謝と感動がそこにあり、他に変えられない大切なものとなっています。(一)

信州の花を贈る



JA全農長野は、長野県の農畜産物をとおして御嶽海関を応援しています

グリーンリーダー15月号（毎月発行） 2024年4月20日発行 第540号
発行／JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 発行人／長谷川孝治 印刷／PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

